

俳句の鑑賞のポイントを理解し、俳句を味わう
－プレ学習&展開学習「名句はどっち？ めざせ！一流俳句評論家」－
－発展学習「お気に入りの俳句を中学生に紹介しよう」－

- 1 科目名 現代文A
- 2 単元名 俳句
- 3 教材名 俳句6句
- 4 単元の内容

単元の目標
と評価規準
・評価方法

①単元の目標

- ア 俳句の鑑賞のポイントを理解し、それに照らして俳句を積極的に味わおうとしている。（意欲・関心・態度）
- イ 俳句の鑑賞のポイントを踏まえて各句の表現のすばらしさに気付く。（読む能力）
- ウ 各句の表現を踏まえて、句に込められた心情、感動を読み解く。（読む能力）
- エ 俳句の鑑賞のポイント、俳句特有の表現、修辞法を理解する。（知識・理解）

②単元の目標設定の理由

- ・俳句の鑑賞のポイントを理解することで、さまざまな俳句を味わう力や生涯にわたって俳句に親しむ態度を養うとともに、俳句の表現のすばらしさに自ら気付き、そのすばらしさを自らのものとするため、この目標を設定した。

③中心となる活動

◎プレ学習&展開学習<名句はどっち？ めざせ一流俳句評論家>

- 本物と偽物の二つの俳句から、あらかじめ提示された大意に基づいて、バズセッション形式で話し合い、本物の名句を見極める。

- ・プレ学習では、素材の選び方、言葉の選び方、表現技法の俳句の鑑賞のポイントに合った、世に知られている名句3作の提示された本物と偽物から本物を見極めると同時に、その決め手から俳句鑑賞のポイントを見い出す。

- ・展開学習では、6句の俳句の提示された本物と偽物から、プレ学習で学習した俳句鑑賞のポイントを用い、バズセッション形式で本物の名句を見極める。

◎発展学習<お気に入りの俳句を小学生に紹介しよう>

- ・学習した9句（プレ学習を含む）の中から、お気に入りの一句を選び、句の内容（解釈）、表現のすばらしさ、自らの感想、作者の紹介、メッセージなど、俳句評論家として中学生に紹介する紹介文を書く。

④言語活動の工夫

◎プレ学習&展開学習<名句はどっち？ めざせ一流俳句評論家>

- ・本物と偽物から本物を見極めるというゲーム感覚で取り組み、また、個人で考えたあと、バズセッション形式で意見をまとめることで、より考えや視野が広がったり、深まったりする。
- ・自ら考え、グループやクラス全体で話し合うことにより、俳句の鑑賞のポイントの理解やそのポイントを踏まえての俳句の鑑賞を、より主体的、積極的に行うことができる。

- ・プレ学習では、世に知られている名句の本物と偽物を提示することで、本物がどちらであるかは見当が付き、ではなぜよいのか、本物と偽物はどこが違うのかという思考が働き、思考を絞ることができ、俳句の鑑賞のポイントに気付きやすくなる。

◎発展学習<お気に入りの俳句を中学生に紹介しよう>

- ・「俳句評論家として」俳句の紹介文を書くという設定で、句の内容や感想にとどまらず、その表現について解説をしたり、俳句を味わうことに対するメッセージなどを書いたりすることになり、俳句の表現のすばらしさや鑑賞のポイント、また、俳句を味わうことの面白さを再認識し、自らも鑑賞を深めることができる。

- ・「俳句評論家として中学生に」向けて俳句の紹介文を書くという設定は、俳句について一定の知識があり、かつ、年下の者に、自らの知識・理解を言語化して伝える（教える）という設定であり、これにより自らの理解の「なんとなく分かった」を明確な理解へと高めることができる。

⑤評価

	項目	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
	関心意欲態度	①自分の考えを持ち、積極的に交流、討論している。 ②自らの言葉で、中学生に分かりやすく紹介文を書こうとしている。	観察 (机間指導 ・発表) 点検(ワークシート)	・交流、討論で得た仲間の意見を取り入れて、自らの考えを深めるよう促す。 ・参考例を示したり、書き出しを例示したりして、参考にするように指導する。
	読む能力	①プレ学習&展開学習のワークシートに、自らの考えや学習内容が書かれている。 ②発展学習のワークシート(紹介文)に、句の内容(解釈)や表現のすばらしさが的確にまとめられている。	観察 (机間指導 ・発表) 点検(ワークシート)	・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。 ・参考例を示したり、書き出しを例示したりして、参考にするように指導する。
	知識理解	①鑑賞のポイントをまとめるワークシートに学習内容がまとめられている。	点検(ワークシート)	・板書し、プレ学習で扱った俳句を例に再度説明し、理解を促す。
成果と課題	資料のページ 【生徒の自己評価と一言感想】・【指導者まとめ】参照。			
アドバイス及び留意点	<p>◎プレ学習&展開学習<名句はどっち? めざせ一流俳句評論家></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この学習は、俳句の表現のすばらしさを味わい、その能力を養うこと、俳句に親しむ態度を養うことに焦点を絞っているため、大意はあらかじめ提示した。 ・本物に対して作る偽物は、本物の表現のすばらしさを際立たせるように、そのすばらしさがある点を変えて作る。 ・短歌にも応用ができるが、短歌の場合は、「上の句に対して下の句を選べ」、「ここに入る七字、ないしは、五字はどっち」など、偽物提示のバリエーションも考えてみたい。 <p>◎発展学習<お気に入りの俳句を小学生に紹介しよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は「俳句評論家として中学生に」向けて俳句の紹介文を書くという設定で行ったが、「俳句をつくる宿題がでている小学生の弟や妹に俳句を作る参考に語ってきかせる」や「俳句に興味を持っている外国人に向けてメールを書く」という設定など、学習の目標やおさえないことを踏まえて設定のバリエーションも考えてみたい。 			
小中学校との系統性	<p>◎プレ学習<名句はどっち? めざせ一流俳句評論家></p> <p>①(中学校・第3学年・読むこと) ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫などに注意して読むこと。</p> <p>◎発展学習<お気に入りの俳句を小学生に紹介しよう></p> <p>①(中学校・第3学年・読むこと) ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。</p>			

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応
1 プレ学習	<p>○名句の表現のすばらしさに気づき、名句を見極める。</p> <p>○俳句の鑑賞のポイントを理解する。</p>	<p>・提示された世に知られている3つの名句の本物と偽物から、大意に照らしてどちらがよりよく表現されているかを考え、名句を見極める。 (ワークシート・グループ交流・全体交流)</p> <p>・名句の見極めの根拠となった表現のすばらしさをもとに、3つの俳句鑑賞のポイントを理解する。 (ワークシート・グループ交流・全体交流)</p> <p>・単元の学習目標と学習課題を理解する。</p> <p style="text-align: center;">【イ・言ア】 [ワークシート<プレ学習>] [ノートプリント] [自己評価シート] (毎時間)</p>	<p>①ワークシートに自分の考えが書かれている。 ↓ 【関】 観察 (交流・発表) 点検 (ワークシート)</p> <p>②ワークシートに俳句鑑賞のポイントがまとめられている。 ↓ 【知】 観察 (発表) 点検 (ワークシート)</p>	<p>・発表を板書し、理解を促す。</p> <p>・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。</p>
2・3 本時 ◎展開学習	<p>○俳句の鑑賞のポイントを踏まえて、3つの名句を見極める。</p> <p>○表現を踏まえて、各句の解釈を深める。</p>	<p>・提示された名句3句の本物と偽物から、大意に照らし、俳句鑑賞のポイントを踏まえてどちらがより良く表現されているかを考えて、名句を見極める。 (ワークシート・グループ交流・全体交流)</p> <p>・表現のすばらしさを踏まえて、大意をより深めて、句を解釈する。 (指名発表・板書)</p> <p style="text-align: center;">【イ・言ア】 [ノートプリント] [生徒ノート活動例]</p>	<p>①俳句鑑賞のポイントを根拠にして、名句が見極められている。 ↓ 【読】 観察 (交流・発表) 点検 (ワークシート)</p> <p>②どんな情景、感動を詠んだ句か具体的に述べるができる。 ↓ 【読】 観察 (机間指導・発表)</p>	<p>・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。</p> <p>・発表を板書し、理解を促す。</p>
4 本時 ◎発展学習	<p>○俳句の紹介文を書く。</p>	<p>・学習した俳句の中から一句を選び、俳句評論家として中学生に句の紹介文を書く。 (ワークシート・発表)</p> <p style="text-align: center;">【イ・言ア】 [ワークシート<発展学習>] [生徒作品例]</p>	<p>①紹介文に、句の内容(解釈)や表現のすばらしさが的確にまとめられている。 ↓ 【読】 観察 (机間指導・発表) 点検 (ワークシート)</p>	<p>・参考例を示したり、書き出しを例示したりして参考にするように指導する。</p>

6-① 第2時の学習指導案

本時の位置	2時間目（全4時間）		
本時の学習目標	ア積極的に交流し、考えを広め、理解を深めようとしている。（意欲・関心・態度） イ俳句鑑賞のポイントを押さえて名句を見極めることができる。（読む能力） ウ表現を押さえて大意を深めて句の解釈ができる。（読む能力）		
事前の準備	①授業ノートプリントを用意する。 ②グループ交流のグループを決めておく。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□本時の学習目標を確認する。	①本時の目標が、「俳句鑑賞のポイントを押さえて名句を見極める」、「表現を押さえて句の解釈を深める」ことであることを確認し、自己評価シートに記入する。 （自己評価シート）	<ul style="list-style-type: none"> ・単元自己評価シートを配布する。 ・授業ノートプリントを配布する。
展開 40分	□3句の名句を見極め、解釈を深める。	<p>各句について、</p> <p>②俳句鑑賞のポイントを押さえて（＝根拠に）、本物と偽物を見極める。 （ノートプリント・グループ交流・発表）</p> <p>③正解と解説を聞く。 （ノートプリント）</p> <p>④表現を押さえて、大意を深めて句の解釈をする。 （グループ交流・発表）</p>	<p>目標アに対する評価規準と評価方法 [規準] 自らの考えを持ち、積極的に交流している。 [方法] 観察（机間指導・発表） 点検（ノート） [状況Cの生徒への手だて] ・何人かの生徒に発表させ、考えるヒントを与えたとともに、発表内容を要点をまとめて板書する。</p> <p>目標イに対する評価規準と評価方法 [規準] ワークシートに、俳句鑑賞のポイントの根拠を持って自分の考えが書かれている。 [方法] 観察（机間指導・発表） 点検（ノート） [状況Cの生徒への手だて] ・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。</p> <p>目標ウに対する評価規準と評価方法 [規準] 感動の中心を理解し、句に詠まれた情景や心情がより具体的に、かつ的確に言語化できている。 [方法] 観察（机間指導） 点検（ノート） [状況Cの生徒への手だて] ・単元の目標と学習課題を板書する。</p>
まとめ 5分	□本時のまとめと、次時の学習活動を確認する。	<p>⑤本時の活動の自己評価と一言感想を自己評価シートに記入し、感想を発表する。</p> <p>⑥次時の単元を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートを回収する。
次時に活かすこと			

6-② 第4時の学習指導案

本時の位置	4時間目（全4時間）		
本時の学習目標	ア自らの言葉で中学生に分かりやすく紹介文を書こうとしている。（意欲・関心・態度） イ紹介文に句の内容・解釈や表現のすばらしさが的確にまとめられている。（読む能力）		
事前の準備	①ワークシートを用意する。 ②グループ交流のグループを決めておく。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□本時の学習目標を確認する。	①本時の目標が、「俳句評論家として中学生に紹介文を書く」ことであることを確認し、自己評価シートに記入する。 （自己評価シート）	<ul style="list-style-type: none"> ・単元自己評価シートを配布する。 ・ワークプリントを配布する。
展開 40分	□お気に入りの一句について紹介文を書く。	②例文を読み、紹介文に必要な要素や、中学生に向けて紹介するに当たって留意したいことを確認する。 （ワークシート・発表） ③お気に入りの一句を選ぶ。 ③俳句評論家として中学生に向けてお気に入りの一句を紹介する紹介文を書く。 （ワークプリント） ④紹介文をグループで交流し、クラスで発表する。 （グループ交流・発表）	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標アに対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕 ワークプリント（紹介文）に自らの言葉で紹介文が書けている。</p> <p>〔方法〕 観察（机間指導・発表） 点検（ワークプリント）</p> <p>〔状況Cの生徒への手だて〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考例を示したり、書き出しを例示したりして、参考にするように指導する。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕 ワークシート（紹介文）に、学習を踏まえた句の解釈や表現のすばらしさといった解説が的確に書かれている。</p> <p>〔方法〕 観察（机間指導・発表） 点検（ワークシート）</p> <p>〔状況Cの生徒への手だて〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確にまとめられた生徒に発表を求め、板書する。 </div>
まとめ 5分	□本時のまとめと、次時の学習活動を確認する。	⑤本時の活動の自己評価と一言感想を自己評価シートに記入し、感想を発表する。 ⑥次時の単元を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートと自己評価シートを回収する。
次時に活かすこと			

